



カードゲームで 脱炭素社会を学ぶ



7月10日、鹿屋工業高校で「高校生によるゼロカーボンプロジェクト」の一環としてカードゲームワークショップが行われました。これは、気候変動や脱炭素の知識を身に付け、持続可能なまちづくりについて学ぶことができるプログラム。参加した電気科2年生39人は、脱炭素の基本から実践までを学ぶカードゲームを体験し、楽しみながら学んでいました。

愛称が「RINA BASE+」に決定



7月9日、リナシティかのやで「リナシティかのや1階交流拠点オープン100日記念トークイベント」が行われました。市では事前に交流拠点の愛称を全国から募集しており、出品された139作品の中から竹下七海さんの「RINA BASE+」に愛称が決定。「あつまる つながる はじまる」をコンセプトに新たな価値を創出する拠点として本格的に運用が開始されました。

マリンスポーツで 鹿屋の夏を満喫



7月14日、高須・浜田海岸で「かのやマリンスポーツ2024」が開催されました。これは、マリンスポーツなどを通じて両海岸の魅力を知ってもらうために開催されるイベント。当日はウィンドサーフィン、バナナボートなどの体験のほか、砂浜ではビーチサンダルとばし大会や綱引き大会などのイベントを実施。約1,000人が来場し、子どもたちは元気いっぱい鹿屋の海を楽しみました。

間近で見る 郷土芸能に圧倒



7月13日、田崎小学校で演舞等の鑑賞会が行われました。これは、子どもたちが文化芸術に触れる機会として、市内小中学校において伝統芸能や音楽鑑賞などを行う「学校芸術鑑賞事業」の一環。今回は劇団ニライスタジオが川東町八月口説踊りや高隈重田棒踊り、高須町の刀舞といった郷土芸能のほか創作演舞を披露し、子どもたちは迫力ある舞いに圧倒されていました。

水質保全のために 地元商工会が清掃活動



7月17日、串良川で「串良川クリーン作戦」が実施されました。これは、東串良町商工会とかのや市商工会が共催するもので、今年で19回目。当日は129人が両岸に分かれ、串良川河川敷の約2km範囲のごみを拾いました。

輝北の寒暖差を生かして 高糖度のメロン栽培



7月10日、㈱サンフィールズから、令和6年産メロンについての報告が行われました。同社は令和3年から輝北町でメロンを栽培しており、久木田敬一社長は「今後は、より付加価値を高めてオリジナルブランドとして展開したい」と話しました。

台湾の小学校と 授業を通じて交流



7月3日、台湾のチャンダウバイリンガル小学校が西原小学校を訪れました。これは英語教育の推進のために交流や教育連携等を行う「グローバル教育推進事業」。子どもたちはリコーダーの合奏や英語の授業を通じて交流を深めました。